

編集EDITORS' 後記COMMENTS

西田竜基

今回も文字起こしという形でしか参加できなかったけど、『飛翔』の編集に携われてとても良かったです。また機会があれば参加したいと思います。ありがとうございました。

小倉諒香

先生のインタビューに参加することで普段の授業では触れることが出来ない先生の考えを深く知ることができ、非常に感慨深かったです。また機会があれば参加してみたいと思います。とても貴重な経験でした。ありがとうございました。

山本秦平

自分は1人の先生のインタビューしか参加できませんでしたが、その対話を通じて新しい発見もあり、『飛翔』に参加させてもらって良かったと思いました。機会があれば、またこのような活動に参加したいと思います。ありがとうございました。

石橋亜光

自分の進む領域とはかけ離れた領域の教授にインタビューをすることで、新しい学びを深めることができ大変面白かったです。様々な人の生き方や考え方をまなぶことができ良かったです!ありがとうございました。

富永和奏

インタビューを通して自分の領域選択について考え直すことができ、とてもいい経験になりました。『飛翔』に参加して良かったです。

橋本晨之介

自分たちで新しく企画を考えたり、前回より少しグレードアップした形でできてとても良かったです。インタビューを通じて人の話を聞くことが自分の刺激になり、とてもいい経験でした。ありがとうございました。

福本理乃

先生・OB・OGの方にお話を聞くことができ、自分にはなかった視点や価値観を知ることができました。大学生1年目に『飛翔』に参加して好奇心を刺激するような経験ができたことは、これからの大学生活にとってプラスになったと思います。携わることができて良かったです。ありがとうございました。

原西麻生

先生方の話は興味深くて、飛翔に参加できてよかったです。メンバーに恵まれて、楽しく活動できました。お疲れ様でした、ありがとうございました。

治田遙花

今回の『飛翔』はいかがだったでしょうか。総科生、先生方、学内の方々、あるいは広大を志す受験生の皆様.....様々な方々が読んでくださっていると嬉しいです。前回の『飛翔』に対し、友人から「先生の人柄まで分かるようなインタビューで、領域選択の参考になった」という声をいただき、とても嬉しかったです。私たち編集委員は、さらに質の高い『飛翔』を作るためにまだまだ模索中です。もし今号を読んで感じたことなどございましたら、ぜひお近くの委員に気軽にお伝えください!

中野有晟

先生方へのインタビューを通して考え方を広げることができました。『飛翔』での経験を今後活かしていきたいです。

錦織俊光

先生インタビューにあたって、先生からの視点で学生がどのように見えているか、また、先生からの学生に対する助言など、生の声が聞けて、編集するにあたって、これからの大学生活を送る上でも、とても参考になりました。

細見啓人

私は主にインタビューと文字起こしに関わっていたのですが、普段なかなか話すことのできないような教授のことを趣味から研究内容まで知ることができる良い機会を『飛翔』に与えられたと思っています。また、目上の方へのメールの送り方などを学べたのもこの『飛翔』でした。1年間と短い間でしたがお世話になりました。良い機会をありがとうございました(^_^)。

奥野慎也

副編集長

前回に続いて『飛翔』の編集をやらせてもらいました。『飛翔』は総科での活動や、学生を紹介するものですが、インタビューを通して出会った人に私自身が大きな刺激をうけました。OBセミナーや研究室紹介でお会いした方々は、私たち学生の親身になって話をしてくださり、自分の大学生活を見直す良いきっかけになりました。これからも『飛翔』が、総科の活躍を知らせるより良い記事になればと願っています。

伊藤美波

副編集長・IGS担当

前回に引き続き今号でもIGSの学生として『飛翔』に関わったことをとても嬉しく思います。ありがとうございました。今回はこれまでとは違った新たな取り組みをすべく、レイアウトチームの編成や新企画を作るなどしました。しかしそれ以外にも、ミーティングをする度に、これからの『飛翔』について、こんなことはできないか、あれもやってみたい、などと私たちの夢や目標はどんどん広がっています。それらを原動力に、また次号でもさらに良いものが作れるよう、頑張りたいと思います。

Esolya Gankhuyag

It was very fun to interview the teachers and I got to hear a lot of useful information about university life. The teachers gave us advice on how to manage our time better and we were able to get to know our teachers better as a person. It was a very inspirational experience and I'm very much looking forward to the publication.

Mikael Kai Nomura

レイアウト長

As the first ever person to be in charge to layout the whole *Hisho*, the experience was very challenging, & FUN. With the teamwork of the whole *Hisho* community, we were able to produce the new master piece, the *Hisho*: 95th issue.

市村風花

副編集長

前回に引き続き今回も『飛翔』の一員として参加させて頂きました。今回は多くの記事に携われたためインタビューやセミナーを通じて様々な考え方に触れ知見を広げることが出来たり、記事書きを通して自分のスキルアップにもなったかなと思います。さらに、今年はIGSが新しく出来たからこそ、なにか『飛翔』で新しいことをしたい、『飛翔』を変えたい、と編集員をはじめとする『飛翔』メンバーで模索しながら新しい取り組みなどを始めることができました。まだまだこれからの『飛翔』でやっていきたいこと、変えていきたいことなどもたくさんありますので、それを次回以降の編集に生かし、より良いものを作れたらと思います。

長野葵

編集長

今回の編集活動を通して、総合科学部の歴史に触れ、総科を支えて下さるたくさんの方々への想いに触れ、色々な方の協力で『飛翔』が成り立っていると感じました。他学部にはない多様性、自由さ、そして可能性など、総科の魅力をより多く伝えることが出来れば幸いです。次号も伝統を継承しながら、新学科IGSのパワーでもっと進化した『飛翔』を作りたいと意気込んでおりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



柳瀬善治

広報・出版委員会(飛翔担当)

IGS発足後の2号目に当たる今号は編集スタイルも刷新し、新たな総合科学部の再スタートに相応しい号になったと思います。先生方とOBの方が多様な知識と角度によるアプローチの重要性と海外経験の大切さを語っておられることを重く受け止めて、これからの激動の時代に向けて勉強に励み一日一日の生活を大切に過ごしてください。

土谷彰男

広報・出版委員会(飛翔担当)

今回の『飛翔』では、フィリピンで日本文学を教えている人の紹介がよかったです。総合科学部の卒業生の多くが地方公務員になっていきますが、まったく違うベクトルの人生もあるということを暗に提示しているようです。将来、IGSの卒業生が母国のビジネスで大成功している事例も掲載されるのが楽しみです。

松浦晶子

総合科学研究科支援室(学生生活担当)

『飛翔』95号からレイアウトが大幅に変わることになり、どうなるかな?と少し心配でしたが、想像以上の仕上がりに驚いています。また、前号に引き続き今号の編集作業にも携わらせていただき、感謝でいっぱいです。これからも総合科学部のいろんな色を出しながら、『飛翔』を作って行ってください。

